

市販の花粉症薬の正しい買い方・使い方

〇+ クイース

1日1回のも薬ですが、今日は花粉症の症状がひどいので、もう1回服用しちゃおうと思います。市販薬は効きめが弱いから大丈夫よね?



用法・用量	
年齢	1日服用
15才以上	1回まで

1日1回服用の薬は、24時間効きめが続くようになっていますので、過量服用になります。

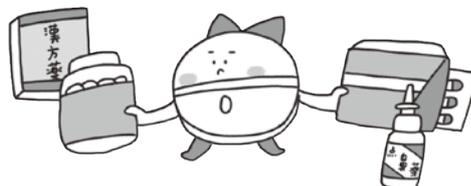


確かに市販薬は医療用医薬品に比べると成分含有量が少ないものもありますが、最近では、安全性が確認された後、医療用医薬品と同じ成分の薬が市販薬に転用されることが増えてきました(スイッチOTCといいます)。特に花粉症の薬は、フェキソフェナジン塩酸塩(アレグラ®)やエピナスチン塩酸塩(アレジオン®)など、医療用と同じ成分で同じ量の薬がたくさんあります。

〇か Xか?

市販の花粉症(季節性アレルギー性鼻炎)薬にはどんな種類があるの?

- くしゃみ・鼻水などのアレルギー症状を抑える
…抗ヒスタミン(抗アレルギー)作用
(フェキソフェナジン塩酸塩や、エピナスチン塩酸塩、マレイン酸クロルフェニラミン、メキタジンなど)
- 副交感神経の作用を抑え、鼻水の分泌を抑える
…抗コリン作用(ペラドンナ総アルカロイド)
- 交感神経に作用して鼻づまりを抑える
…プソイドエフェドリン、メチルエフェドリンなど
- その他 …漢方薬、点鼻薬があります



選ぶとき、購入するときに気をつけることは?

副作用を確認して自分に合う薬を選んでね。



ほとんどの花粉症の薬(内服)には、抗ヒスタミン成分が含まれており、その代表的な副作用には、眠気があります。また、副交感神経の働きを抑える作用(抗コリン作用)もあるため、のどが渇いたり、おしっこが出にくくなったり、便秘になることもあります。抗ヒスタミン成分や抗コリン作用を持つ成分は、かぜ薬や鎮咳去痰薬、胃腸薬、乗り物酔い予防薬などにも含まれているため、他の薬を飲んでいる場合は、十分に注意しましょう。

服用するときに気をつけることは?

- 抗ヒスタミン成分は、緑内障や前立腺肥大症を悪化させるおそれがあります。また、眠気の副作用が出やすいため、車の運転や機械の操作をする人も使用を避けましょう。なお、眠気の副作用が少ないのはフェキソフェナジン塩酸塩です。
- 交感神経に作用するプソイドエフェドリン、メチルエフェドリンなどでは、高血圧、心臓病、糖尿病、甲状腺機能亢進症などの症状を悪化させるおそれがありますのでこのような病気のある方は服用しないでください。

長期間症状が続く場合は、他の病気の可能性もありますので、一度医療機関(耳鼻科)を受診してください。

